

今泉小学校改築に伴う地質調査工事

ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立今泉小学校改築 孔番 No. №1 地盤高 _____ m

調査場所 に伴う地質調査(今泉1310番地) (基準面 _____)

地 形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和49年 7月 4日 ~ 7月 6日

地下(孔内)水位 2.75m 調査担当者 _____

標地下水位 高(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 試験深度 (m)	標準貫入試験								
					土 色 調	相 対 密 度		番 号	記 号		採取深度 (m)	打 撃 回 数							
												0	10	20	30	40	50	60	70
0	0.50	0.50	×	盛土															
1	0.85	0.35		土主															
2	2.00	1.15		ローム	茶褐色		砂質ローム 砂混入多い所 挟む。			2.0.5	1.15	11							
3	2.75	0.75		砂	"		ローム混る。			2.0.4	2.15	9							
4										3.15	50								
5										3.21	16								
6										24.19.7	0.15	50							
7										24.39	24								
8										26.24	5.15	50							
9										5.32	17								
10										20.30	6.15	50							
11										6.32	17								
12										19.3	7.15	50							
13										7.29	14								
14										16.13.1	8.15	50							
15										8.39	23								
16										18.16.1	9.15	50							
17										9.39	22								
18										21.27	10.15	50							
19										10.33	18								

ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立今泉小学校改築に伴う 孔番 No. 16.2 地盤高 _____ m

調査場所 地質調査

(基準面)

地 形 _____

摘 要 _____

調査期間 昭和49年7月5日 ~ 7月10日

地下(孔内)水位 _____

調査担当者 _____

標準地下水位 高水位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料			標準貫入試験													
					色 調	相 対 密 度		番 号	記 号	採取深度 (m)	原 位 置 試験深度 (m)	打 撃 回 数												
												0	10	20	30	40	50	60	70					
	0			表 土	暗 灰		20cm盛土																	
	0.86	0.85		ローム	茶褐色		有キ物混る。 下部砂混入多くなる。	2.2.3		1.15	7													
	2.25	1.40			暗青灰色		上層より-5.7m附近まで砂の混入多い所挟在あり。全体的に含水多く崩壊性あり。礫径80~100%介在あり。5.70m附近より礫混入多くなる。	4.24.21		2.15	49													
								8.0.12		3.15	24													
								20.15.17		4.15	52													
								10.9.8		5.15	27													
								18.17.14		6.15	59													
										7.15	80													
										7.25	111													
								16.20.14		8.15	59													
										8.40	65													
								21.18.14		9.15	59													
										9.38	63													
	10.31			砂 礫	茶灰色			26.24.6		10.15	59													
										10.31	16													

ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立今泉小学校改築に伴う 孔番 No. 16.3 地盤高 _____ m

調査場所 地質調査 (基準面 _____)

地 形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和49年7月10日 ~ 7月12日

地下(孔内)水位 2.70 m 調査担当者 _____

標地下水位 高位(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 試 験 深 度 (m)	標準貫入試験								
					色調	相対 稠度		番号	記号		採取深度 (m)	打 撃 回 数							
												0	10	20	30	40	50	60	70
0	0.65	0.65	X	表 土	黒														
1	1.10	0.45	//	ローム			砂質			11.14.9	1.15 1.45	30							
2	1.90	0.80	○	砂 礫	青灰		80%内外介在			1.1	2.15 2.45	2							
3	2.75	0.85	—	砂質粘土	暗灰		含水あり.			3.3.6	3.15 3.45	12							
4	3.35	0.60	/	砂	"		"			24.23.11	4.15 4.36	50 21							
5			○		暗青灰色		所々φ80~ 100%内外の 礫介在するが 全体的に30~ 50%程度の 礫混入多い。			9.5.9	5.15 5.45	23							
6			○							19.21.10	6.15 6.45	50							
7			○				4.60m附近 より砂分の多 い処の挟層あ り。				7.15 7.26	50 11							
8			○							18.17.11	8.15 8.31	46							
9			○		茶灰色					20.18.12	9.15 9.39	50 24							
10	10.28		○	砂 礫						10.15	50 10.28	13							

ボーリング柱状図

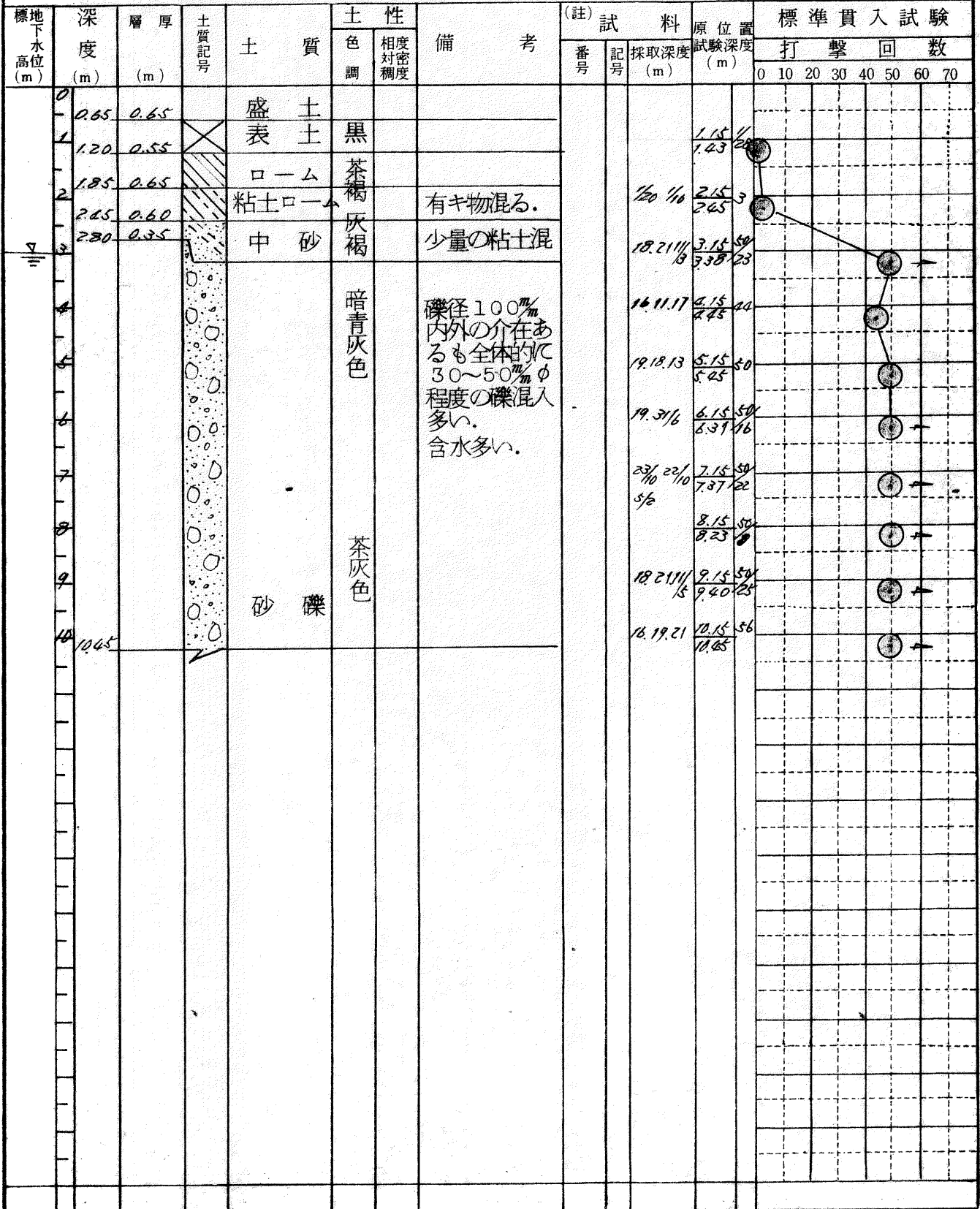
調査名 宇都宮市立今泉小学校改築 孔番 No. 16.4 地盤高. _____ m

調査場所 に伴う地質調査 (標準面)

地形 _____ 摘要

調査期間 昭和 49年 7月 13日 ~ 7月 17日

地下(孔内)水位 3.00 m 調査担当者



ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立今泉小学校改築に伴う 孔番 No. №.5 地盤高 _____ m

調査場所 地質調査 (基準面 _____)

地 形 _____ 摘 要 _____

調査期間 昭和49年 7月23日 ~ 7月25日

地下(孔内)水位 _____ 調査担当者 _____

標地下水位 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打 撃 回 数													
					色	相対 稠度		番号	記号		採取深度 (m)	0	10	20	30	40	50	60	70					
0	0.70	0.70	X	表 土																				
1			/				有キ物混る。 L 4.0m附近より 砂質で下部 砂混入多い。			1.2	1.15 1.45	3												
2	2.50	1.80	/	ローム						2.2.16	2.15 2.45	20												
3			○				最大礫φ 100% 内外混入す。			18.21.11	3.15 3.45	50												
4			○		暗青 灰色					14.22.14	4.15 4.42	50 27												
5			○				含水多く如て り砂混入多い 所あり。			14.13.13	5.15 5.45	40												
6			○							17.14.14	6.15 6.45	45												
7			○							18.21.11	7.15 7.38	50 23												
8			○							19.31/8	8.15 8.33	50 18												
9			○	砂 礫	茶灰色					16.19.21	9.15 9.45	56												
10	10.31		○							23.27/6	10.15 10.31	50 16												

ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立今泉小学校改築に伴う 孔番 No. 16.6 地盤高 _____ m

調査場所 地質調査 (基準面 _____)

地 形 _____ 摘 要 _____

調査期間 昭和49年7月20日 ~ 7月22日

地下(孔内)水位 -3.00m 調査担当者 _____

標地下水位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		標準貫入試験									
					色 調	相 対 密 度		採 取 深 度 (m)	原 位 置 試 験 深 度 (m)	打 撃 回 数									
										番 号	記 号	0	10	20	30	40	50	60	70
	0			表 土															
	0.65	0.65	X	ローム	茶褐色		有キ物混る。	1.1.1	1.15	3									
	1.75	1.10	/	砂	灰褐色		ローム質	5.15.20	2.15	40									
	2.45	0.70	.	砂礫	暗青色		上部30cm程度砂分多い。	14.16.16	3.15	46									
			o	砂礫	茶灰色		礫径100mm内外を介在するも30~60%程度礫混入目立つ。	30.20	4.15	50									
			o	砂礫	茶灰色			18.19.19	5.15	50									
			o	砂礫	茶灰色			16.34/8	6.15	50									
			o	砂礫	茶灰色			19.17.14	7.15	50									
			o	砂礫	茶灰色			21.29/8	8.15	50									
			o	砂礫	茶灰色			17.16.17	9.15	50									
	12.39		o	砂礫	茶灰色			19.21.10	10.15	50									

ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立今泉小学校改築 孔番 No. 16.7 地盤高 _____ m

調査場所 に伴う地質調査 (基準面 _____)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和49年7月18日 ~ 7月19日

地下(孔内)水位 _____ 調査担当者 _____

標地下水位 高(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料		原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験								
					色調	相対 稠度		番号	記号		採取深度 (m)	打撃回数							
												0 10 20 30 40 50 60 70							
0	0.20	0.20	X	表土															
1	1.00	1.20	/	ローム	茶褐		少量の砂混る。			1.15 1.45	2								
2	2.30	0.90	-	砂質粘土	"		粘着性あり。			1.3.6 2.25	10								
3	2.70	0.40	-	粘土質砂						12.10.21 3.15 3.25	43								
4			○		青灰色		4.10m~39cm程度砂夾む。			5.15.14 4.15 4.25	34								
5			○		灰褐色		礫は80~100%内外を介在するも全体的に60%以下の礫混入目立つ。全体的に含水量。			21.16.13 5.15 5.25	50								
6			○							27.23.7 6.15 6.32	50 17								
7			○							23.27.5 7.15 7.28	50 13								
8			○							30.20.6 8.15 8.21	50 14								
9			○							18.21.11 9.15 9.37	50 20								
10	10.29		○	砂礫						28.22.4 10.15 10.29	50 14								